



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 増田製粉所  
 コード番号 2008 URL <http://www.masufun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 武政 亮佐  
 (氏名) 岩永 和弘

TEL 078-681-6701

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,655	△6.5	272	67.4	288	70.1	162	113.1
28年3月期第2四半期	4,978	3.7	162	△26.3	169	△26.1	76	△34.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 222百万円 (134.6%) 28年3月期第2四半期 94百万円 (△51.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	17.83	—
28年3月期第2四半期	8.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	8,125	4,641	50.6	451.06
28年3月期	7,683	4,478	51.8	436.51

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,113百万円 28年3月期 3,980百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	△0.3	400	6.3	420	7.4	250	11.8	27.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	10,000,000 株	28年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	880,765 株	28年3月期	880,565 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	9,119,321 株	28年3月期2Q	9,120,216 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策等を背景に緩やかな回復基調にあるものの、消費者の低価格・節約志向が強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは企業体質強化に努め、合理化、効率化を強力に推進し、当社グループの販売網や製品特性を活かした販路拡大の促進など、業績の向上に努力いたしますとともに、業務提携先である日東富士製粉株式会社とのシナジー効果の創出に注力いたしました。一方で、外国産小麦の政府売渡価格が平成28年4月から平均7.1%引き下げられたことに伴い、業務用小麦粉の販売価格を改定いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は46億5千5百万円（前年同期比3億2千3百万円減、6.5%減）となりましたが、営業利益は2億7千2百万円（前年同期比1億9百万円増、67.4%増）、経常利益は2億8千8百万円（前年同期比1億1千8百万円増、70.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6千2百万円（前年同期比8千6百万円増、113.1%増）、四半期包括利益は2億2千2百万円（前年同期比1億2千7百万円増、134.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①製粉

当社グループの主要事業である製粉事業におきましては、小麦粉需要の低迷に加え、相次ぐ原料小麦の価格変動、販売競争の激化等、厳しい状況下で推移いたしました。当社は、主力製品である「宝笠印小麦粉」をはじめ、国内産小麦で製造したこだわりのある製品の積極的な販売活動を推進するとともに、生産性向上およびコスト削減に努めました。また、販売価格につきましても、原価が適正に反映できるようになりました。この結果、売上高は27億9千8百万円（前年同期比2億2千9百万円減、7.6%減）となりましたが、営業利益は1億7千1百万円（前年同期比1億1千4百万円増、198.1%増）となりました。

#### ②食品

食品事業におきましては、乾麺需要の低迷等の影響をうけ、売上高は18億5千6百万円（前年同期比9千3百万円減、4.8%減）、営業利益は9千2百万円（前年同期比9百万円減、9.4%減）となりました。

当社グループの売上高は、上半期と下半期とでその構成内容に季節要因による著しい相違があります。これは、当社グループの食品事業において、主要製品である乾麺の需要期が夏場であり、4月～8月に売上が集中する傾向にあるためであります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末に比べ4億4千1百万円増加し、81億2千5百万円となりました。

流動資産残高は、前連結会計年度末に比べ5億4百万円増加し、50億4千2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億3百万円、原材料及び貯蔵品が3億1千5百万円、受取手形及び売掛金が9千3百万円増加した一方で、商品及び製品が1億8千9百万円減少したことによるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末に比べ6千2百万円減少し、30億8千2百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が3千5百万円増加した一方で、有形固定資産が9千1百万円減少したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2億7千9百万円増加し、34億8千3百万円となりました。この主な要因は、長短借入金が4億3千6百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1億8百万円、未払法人税等が4百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、利益剰余金が1億7百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億6千2百万円増加し、46億4千1百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結会計期間末に比べ2億8千2百万円増加し、13億1千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、4千1百万円（前年同期は5億6千1百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が2億8千8百万円、減価償却費が1億2千万円となった一方で、法人税等の支払額が9千2百万円となったことおよびたな卸資産が1億2千5百万円、売上債権が9千3百万円増加し、仕入債務が1億8百万円減少したことによるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、3千万円（前年同期は1億5千4百万円の使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出2千7百万円によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は、3億7千6百万円（前年同期は2億7百万円の使用）となりました。これは主として長期借入金が4億5千6百万円増加した一方で、短期借入金が2千万円減少したことおよび配当金の支払額5千4百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日に公表しました平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の通期業績予想につきまして変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これにより、損益に与える影響はありません。

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社におけるたな卸資産のうち、商品、原材料及び貯蔵品の評価方法は、従来、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により評価しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更は、原料小麦において、比較的安定して推移していた国内小麦相場が近年において著しく変動していることから、価格変動の影響をより適時にたな卸資産の評価および期間損益に反映させることが妥当と判断したこと、および当社の国内産小麦で製造した特徴ある製品等の販売実績が定着したことを理由として行うものであります。また、商品、材料及び貯蔵品についても、事務処理統一の観点からこれにあわせております。

当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。

### （2）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,008,685	1,312,569
受取手形及び売掛金	996,743	1,090,708
商品及び製品	1,135,884	945,925
原材料及び貯蔵品	1,251,267	1,566,482
繰延税金資産	43,720	42,024
その他	102,525	86,501
貸倒引当金	△1,210	△2,060
流動資産合計	4,537,616	5,042,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,301,387	1,262,317
機械装置及び運搬具(純額)	687,726	632,684
土地	494,931	494,931
リース資産(純額)	870	—
その他(純額)	30,720	34,577
有形固定資産合計	2,515,634	2,424,511
無形固定資産		
その他	42,759	36,007
無形固定資産合計	42,759	36,007
投資その他の資産		
投資有価証券	412,877	448,811
長期貸付金	460	1,880
繰延税金資産	308	465
その他	179,823	177,518
貸倒引当金	△6,250	△6,250
投資その他の資産合計	587,217	622,424
固定資産合計	3,145,612	3,082,942
資産合計	7,683,228	8,125,093

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	654,586	546,040
短期借入金	1,376,648	1,549,436
リース債務	913	—
未払法人税等	97,082	93,077
その他	402,325	348,131
流動負債合計	2,531,556	2,536,685
固定負債		
長期借入金	496,063	759,743
繰延税金負債	33,867	43,320
退職給付に係る負債	72,438	75,262
その他	70,464	68,632
固定負債合計	672,833	946,958
負債合計	3,204,389	3,483,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,638	67,638
利益剰余金	3,478,652	3,586,544
自己株式	△203,405	△203,468
株主資本合計	3,842,885	3,950,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,820	162,565
その他の包括利益累計額合計	137,820	162,565
非支配株主持分	498,133	528,168
純資産合計	4,478,839	4,641,449
負債純資産合計	7,683,228	8,125,093

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
売上高	4,978,127	4,655,019
売上原価	4,152,293	3,726,237
売上総利益	825,834	928,781
販売費及び一般管理費	663,004	656,202
営業利益	162,829	272,579
営業外収益		
受取利息	197	187
受取配当金	6,778	8,026
保険返戻金	1,321	4,209
その他	3,345	7,117
営業外収益合計	11,642	19,540
営業外費用		
支払利息	4,633	3,473
その他	286	189
営業外費用合計	4,919	3,663
経常利益	169,552	288,456
特別利益		
固定資産売却益	71	259
特別利益合計	71	259
特別損失		
固定資産除却損	466	171
特別損失合計	466	171
税金等調整前四半期純利益	169,156	288,544
法人税等	56,185	89,623
四半期純利益	112,971	198,921
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,299	162,608
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,671	36,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,026	23,852
その他の包括利益合計	△18,026	23,852
四半期包括利益	94,944	222,774
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,933	187,354
非支配株主に係る四半期包括利益	39,011	35,420



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	169,156	288,544
減価償却費	156,642	120,814
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,460	850
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,130	2,823
受取利息及び受取配当金	△6,975	△8,213
支払利息	4,633	3,473
有形固定資産売却損益(△は益)	△71	△259
固定資産除却損	466	171
未払消費税等の増減額(△は減少)	36,205	△63,287
売上債権の増減額(△は増加)	△196,954	△93,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	147,016	△125,255
仕入債務の増減額(△は減少)	204,711	△108,546
その他	45,822	28,701
小計	567,244	45,853
利息及び配当金の受取額	6,975	8,213
利息の支払額	△4,878	△3,798
法人税等の支払額	△8,006	△92,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	561,334	△41,761
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△150,328	△27,402
有形固定資産の売却による収入	81	260
無形固定資産の取得による支出	△1,430	—
投資有価証券の取得による支出	△1,948	△1,564
貸付けによる支出	△700	△2,000
貸付金の回収による収入	290	270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,035	△30,437
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△20,000
長期借入れによる収入	350,000	710,000
長期借入金の返済による支出	△199,417	△253,532
リース債務の返済による支出	△685	△369
自己株式の取得による支出	△213	△62
配当金の支払額	△54,475	△54,569
非支配株主への配当金の支払額	△3,089	△5,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△207,881	376,081
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	199,417	303,883
現金及び現金同等物の期首残高	830,703	1,008,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,030,121	1,312,569

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,028,576	1,949,551	4,978,127	—	4,978,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	86,455	2,487	88,942	△88,942	—
計	3,115,031	1,952,038	5,067,070	△88,942	4,978,127
セグメント利益	57,660	102,600	160,261	2,568	162,829

（注）1. セグメント利益の調整額2,568千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,798,610	1,856,409	4,655,019	—	4,655,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,797	2,386	73,184	△73,184	—
計	2,869,407	1,858,796	4,728,204	△73,184	4,655,019
セグメント利益	171,900	92,931	264,831	7,747	272,579

（注）1. セグメント利益の調整額7,747千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。